

## 平成30年度 頼山陽文化講座実施要項

- 1 主催 (公) 頼山陽記念文化財団, 中国新聞社
- 2 共催 広島県教育委員会
- 3 後援 広島市教育委員会
- 4 テーマ「旅する文人～頼山陽と頼家の人々を中心に～」(全6回)

今年は、頼山陽の九州旅行から200年にあたります。頼山陽もそうですが、江戸時代の学者文人は旅をする機会が思いのほか多く、旅日記や書画作品も数多く残されています。

この講座では、頼山陽をはじめとする文人墨客たちが残した旅の足跡ともいべき資料や作品を紹介しながら、江戸時代の旅とその楽しみについて探っていきます。

### 5 講座スケジュール及び講師と講座内容一覧

回	実施期日・会場	講師	講座名	講座内容
1	6月23日(土) 5階研修室C	頼 祺一	親孝行の旅	頼三兄弟(春水・春風・杏坪)は父性清と旅をし、紀行文を残しています。彼らの親孝行の旅について紹介します。
2	7月28日(土) 5階研修室C	篠原達也	広島を訪れた人々	西国街道(山陽道)は西国おける陸上交通の大動脈でした。街道の様子や広島を訪れた学者文人たちの足跡を紹介します。
3	8月18日(土) 5階研修室C	大知徳子	宮島を旅する	江戸時代に一大観光地として多くの人が訪れた宮島。その賑わいぶりを紹介します。
4	9月29日(土) 5階研修室A	花本哲志	湯治の旅	江戸時代は温泉地が整備され、湯治が行われるようになった時代です。湯治に訪れた頼家の人々の姿を紹介します。
5	10月27日(土) 5階研修室C	進藤多万	ト夜快語を読む	文政元年(1818)10月、豊後竹田を訪れた頼山陽は、すぐに立ち去るつもりが6日間も逗留しました。山陽の竹田での6日間に迫ります。
6	12月1日(土) 5階研修室C	花本哲志	耶馬溪図巻記を読む	耶馬溪図巻は山陽の絵画作品を代表するものですが、画に続いて書かれた文はあまり知られていません。改めてその文章を味読してみましょう。

6 会場は「広島市まちづくり市民交流プラザ」です。

- ・講義時間は、毎回14:00～15:30とします。
- ・毎回講座終了後、頼山陽史跡資料館の見学及び展示解説を行います。(希望者)

7 定員 60名(先着順で受け付けます。)

8 資料代等 3,000円(6回分)(全講座受講されない場合でも返金いたしません。)

9 受講申込み

- ① 受講申し込みの受付期間は、6月15日(金)までとしますが、先着順に受け付け、定員に達し次第、受付を締切ります。
- ② 受講希望者は、ハガキ、FAX(082-542-0125)、電話(082-542-7022)又はEメール([info@raisanyou.com](mailto:info@raisanyou.com))のいずれかの方法で、氏名、郵便番号、住所、連絡先電話番号を知らせてください。又ハガキの場合は「頼山陽文化講座申込」と表記してください。(お寄せいただいた個人情報については事業運営の目的以外には使用いたしません。)
- ③ 【申込先】〒730-0036 広島市中区袋町5番15号 公益財団法人頼山陽記念文化財団事務局宛
- ④ 受講決定者には、6月22日(金)までに受講票と資料代等納入のための郵便振替用紙をお送りします。

公益財団法人頼山陽記念文化財団事務局	
電話	082-542-7022
ファックス	082-542-0125
Eメール	info@raisanyou.com

